



株主・投資家の皆さまへ

2015年 3月期 第2四半期 | No.48



01 CEOメッセージ
上半期の業績は順調。来期、そして5年、10年先のオリックスの成長に向けたさまざまな施策を取ってまいります。

03 オリックスReview
業績推移・セグメント情報・事業活動トピックス

05 おしえて！オリックスVol.8
“ハレの日”を彩る商業施設「KIRARITO GINZA」(キラリトギンザ)開業！

07 世界に広がるオリックスグループ
オランダの資産運用会社 Robeco Groep N.V.(ロベコグループ)

08 キーパーソンが語る「未来を創るオリックス」
地域に根ざし、地域と共に成長する

09 企業情報

10 株主アンケート結果のご報告

裏表紙
オリックス・バファローズ ニュース



50th
Anniversary

証券コード:8591

上半期の業績は順調。
来期、そして5年、10年先のオリックスの成長に向けた
さまざまな施策を取ってまいります。

2014年12月

取締役 兼 代表執行役社長・
グループCEO

井上 亮



上半期の当期純利益は
前年同期比77%増
通期目標に対して68%の進捗

2015年3月期上半期の当期純利益は、前年同期に比べ77%増益の1,421億円となりました。当期の通期目標である2,100億円に対する進捗率は68%を達成しています。上半期にハートフォード生命保険株式会社の買収を行ったリテール事業部門と、前期に連結子会社化したオランダの資産運用会社ロベコの貢献などがあった海外事業部門が前年同期に比べて大幅な増益となり、業績を大きく牽引しました。また、不動産事業部門の利益も大きく増加し、法人金融サービスおよびメンテナンスリース事業部門は堅調な利益貢献を果たしました。

2015年3月期 連結業績目標

営業収益	1兆8,000億円 ☑(前期に比べ34%増)
当期純利益*	2,100億円 ☑(前期に比べ12%増)

*当社株主に帰属する当期純利益

来期、そして5年、10年先の
オリックスの成長に向けて

世界経済は、景気の先行き見通しに対して見方が分かれるなど不透明さが増しています。日本経済は消費税増税後の個人消費の停滞が長引き、企業の設備投資も落ち込んでいます。このような事業環境ではありますが、オリックスとしては、当期は営業面、財務面ともに懸念の少ない一年になるものと考えています。これまでオリックスは、常に新しい分野に参入し、ビジネスモデルを変化させながら成長を遂げてまいりました。下半期は、通期目標達成に向けた努力は当然のことながら、来期、そして5年、10年先のオリックスの成長に向けたさまざまな施策を取ってまいります。例えば、現在資産管理分野はロベコが中心となって事業を展開していますが、今後は債券、株式、不動産など資産管理対象を広げることで、事業拡大の可能性は無限にあると考えています。

環境エネルギー関連事業の
グローバル展開

また、オリックスでは将来のコアとなる事業の一つとして環境エネルギー関連事業に注力しています。国内の太陽光発電事業では2014年9月末時点でメガソーラーと屋根設置型発電の合計で約600MWの案件を確保し、順調に拡大しています。その全てに関して、**系統連系**の同意や電力会社による電力買い取りの内諾を取得しており、今後順次建設が進み、発電が開始されることで安定した収益貢献が期待できます。また、今後は並行して地熱、風力、**バイオマス発電**といった太陽光以外の再生可能エネルギー事業にも注力してまいります。海外では、アジア開発銀行、ロベコ、オリックスとアジア地域の環境エネルギー関連事業を対象としたファンドの組成を進めています。大気汚染や電力不足など深刻な環境

課題を抱えるアジア地域への再生可能エネルギーや省エネルギー分野での投資を通じて、アジアの経済成長と生活水準の向上に貢献してまいりたいと考えています。

下半期にも大きな懸念事項はないことから、当期は目標を達成し、過去最高益を更新できると考えています。私の使命は、来期以降も力強い成長を維持することであり、それが株主の皆さまのご期待にお応えすることだと考えています。そのために、最大限の努力をこれからも続けてまいります。

用語解説

系統連系 太陽光発電や風力発電などで発電した電力を、電力会社から受電する電力系統(配電線)と接続すること。

バイオマス発電 木質チップ燃料をボイラーで燃焼させ、その蒸気熱でタービンを回転させて発電する仕組み。オリックスは現在群馬県で「吾妻バイオマス発電所」を運営しています。

業績推移

2015年3月期上半期のポイント

- ▶ 当期純利益*は前年同期比77%増の1,421億円、5期連続で増益
- ▶ 通期目標2,100億円に対して68%の進捗
- ▶ ROEは14.4%を達成



セグメント情報

	法人金融サービス		メンテナンスリース		不動産		事業投資		リテール		海外	
セグメント利益(億円)	114	126	205	215	88	158	222	153	284	777	342	615
	14.3 上半期	15.3 上半期	14.3 上半期	15.3 上半期	14.3 上半期	15.3 上半期	14.3 上半期	15.3 上半期	14.3 上半期	15.3 上半期	14.3 上半期	15.3 上半期
セグメント資産(億円)	9,607	9,836	5,691	6,561	10,455	8,853	4,342	6,060	20,566	39,070	16,826	20,901
セグメント資産ROA*(%)	1.5	1.6	4.5	4.3	1.0	2.2	6.2	3.4	1.7	3.3	2.8	3.9

* 税引き後

セグメント別2015年3月期上半期までのポイント

法人金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 手数料収益の獲得は順調 ● ファイナンス・リース収益が堅調に推移
メンテナンスリース	<ul style="list-style-type: none"> ● 資産拡大に伴って利益が増加、高いROAを維持 ● トラックレンタルが引き続き好調
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ● 売却益の増加と減損の減少により大幅増益 ● 売却を促進、残高は9,000億円を下回る
事業投資	<ul style="list-style-type: none"> ● PE投資および環境エネルギー事業の拡大により、資産は増加 ● サービサー事業、大京からの利益が減少
リテール	<ul style="list-style-type: none"> ● ハートフォード生命の連結により利益および資産が増加 ● 銀行事業、生命保険事業は順調に拡大
海外	<ul style="list-style-type: none"> ● ロベコの運用資産残高が拡大、アセットマネジメント収益が増加 ● 米州の手数料収益が増加

より詳しい財務情報は
オリックスIRサイトへ

オリックス IR 検索

<http://www.orix.co.jp/grp/ir>

事業活動トピックス

7月 国内初、ワンウェイ(乗り捨て)方式のカーシェアリング開始を発表



オリックス自動車は、メルセデス・ベンツ日本株式会社、アマノ株式会社と共同で、9月1日より神奈川県横浜市内で、ワンウェイ(乗り捨て)方式のカーシェアリングサービス「スマート ワンウェイ カーシェアリング」(愛称「smaco」)を開始することとしました。

メルセデス・ベンツの「スマート電気自動車」20台を導入し、アマノグループが管理する横浜市全8カ所の駐車場を拠点に、オリックス自動車がカーシェアリングサービスをご提供します。期間は2015年3月31日までの7カ月間で、お客さまのご利用状況やご要望などを検証します。

8月 アジア地域の環境関連投資を目的としたプライベート・エクイティ・ファンドの設立で合意

オリックスは、アジア開発銀行(ADB)および昨年7月に買収したロベコグループと共同で、アジアでの環境エネルギー分野への投資を目的としたプライベート・エクイティ・ファンド「Asia Climate Partners (ACP)」を設立することで合意しました。香港に3社による投資運用の専門チームを設置し、オリックス、ADBおよびグローバルな機関投資家が本ファンドに総額約4億米ドルを出資する予定です。ACPIは、今後市場拡大が期待される環境や社会貢献に寄与する再生可能エネルギーや水資源、農業などの事業分野を対象に投資します。

9月 東南アジアの成長企業を対象としたメザニンファンドの設立を発表

オリックスは、シンガポール大手銀行United Overseas Bank Limited(UOB)と共同で、東南アジアの成長企業に投融資する目的でメザニンファンド「United Orient Capital Fund, L.P」を組成することを発表しました。

本ファンドは、企業へのローン提供または社債や優先株を投資対象とし、成長性、潤沢なキャッシュ・フローおよび有能な経営陣を兼ね備えた企業へ投資します。本ファンドを通じて、資本構成の変更、M&A、国営企業の民営化などの際の資本増強や事業再構築における資金需要に対応します。オリックスとUOBは、合計1億米ドルを本ファンドに拠出し、今後、アジアの機関投資家を中心にさらに1億米ドルの出資を募ります。

9月 全国初、空港跡地のメガソーラー発電所が稼働



枕崎空港跡地に建設したメガソーラー発電所

オリックスと株式会社九電工は、枕崎空港(鹿児島県枕崎市)の跡地で建設を進めていた最大出力8.2MWのメガソーラー発電所「枕崎市枕崎空港跡地第一発電所・第二発電所」の運転を開始しました。空港跡地を活用したメガソーラー発電事業は、本件が全国初の取り組みです。

また、地域貢献として枕崎市や第三セクターへの寄付により、空港ターミナルビルを活用した発電所の見学・学習スペースや天文観測所を設置しています。

“ハレの日”を彩る商業施設

キラリト

ギンザ

「KIRARITO GINZA」開業！

大規模な再開発が進む八重洲・京橋エリアと銀座エリアを繋ぐ「銀座一丁目」。ここにオリックスがプロジェクトマネージャーを務める新しい商業施設「KIRARITO GINZA」が10月30日にオープンしました。

「銀座でいちばん、幸せな場所」をコンセプトに、人生において「キラリト輝く瞬間」である結婚式、結婚記念日、誕生日などのギフトをテーマにした“ハレの日”を彩る旬で話題の物販、飲食、サービスなど52店舗が入る商業施設です。日本初の店舗や限定商品も多数取り揃えています。「KIRARITO GINZA」が、さまざまな人々が集う新たなランドマークとなり、銀座エリアのさらなる魅力向上に繋がる施設となるよう目指してまいります。



PRINCE



貴和製作所



hartmann



VIA



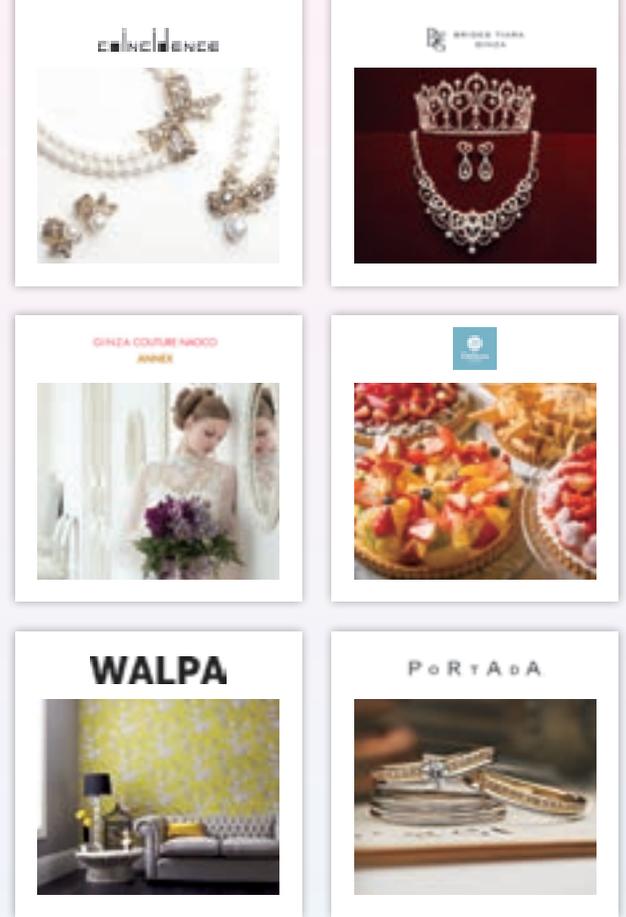
PIZZERIA



ENUOVE



屋上スカイガーデン
※ウェディングゲストハウス「ヴァルデモッサ銀座」
利用時のみご利用いただけます。



「銀座にないものをつくりだす」 新しいチャレンジ!!

オリックス 不動産事業統轄本部
投資事業第一部第二課
後藤 真行(左)・大納 健志(右)



銀座中央通りでもひととき目立つ建物デザイン

銀座エリアに建物を建築する際は、守らなくてはならない厳しいデザイン規定があります。しかし、すでに競争の激しい中央通りで、今までの銀座一丁目にはない賑わいを生むためには、個性を確立した施設でなければならないと考え、数えられないほどの設計変更を繰り返しました。その結果、銀座の街並みに溶け込みながらも、遠くからでもひととき目立つダイヤモンドのプリリアントカットをモチーフにした外観デザインを実現しました。

銀座ではめずらしいオープンテラスとスカイガーデン

日本有数の商業エリアである銀座は地価が高いため、テナント向けに提供できる面積が多くなるように設計するのが一般的ですが、より魅力的な施設をプロデュースするために、中央通りでは前例がない約100㎡のオープンテラスと屋上スカイガーデンを創りました。企画としては思い切ったチャレンジでしたが、他の施設では味わうことができない開放的な空間を楽しむことができるため、テナント誘致に大きく寄与し、また、お客さまにも喜んでいただいています。

担当者メッセージ

「KIRARITO GINZA」でしか感じられない魅力が詰まった商業施設です。ぜひ一度足を運んでみてください!!

「KIRARITO GINZA」公式サイト

<http://www.kirarito-ginza.jp/>

オランダの資産運用会社 Robeco Groep N.V. (ロベコグループ)



現地リポーター
Robeco Groep N.V.
Manager
石光 貴宏



オランダ・ロッテルダム
にあるロベコ本社ビル

ロベコはお客さまのお金をお預かりして運用する資産運用会社で、昨年7月にオリックスグループ入りしました。運用資産規模は2014年9月末現在、2,377億ユーロで、日本で運用資産規模トップの野村アセットマネジメント株式会社と同規模です。ロベコの運用資産残高の内訳は、機関投資家向け、個人投資家向けがそれぞれ約5割で、長年資産運用のプロフェッショナル集団として世界最高水準の運用商品を提供しています。日本ではアベノミクスなど時流に合わせた新商品の開発に力を入れている傾向がありますが、ロベコは長期的な投資を前提に運用戦略を考えている点が特徴です。

また、コーポレートガバナンスに加え、従業員への配慮、地域社会への貢献、環境保護への取組などの視点から企業が社会的責任を果たしているかどうかを投資の判断条件にするサステナビリティ投資も行っています。

ロベコは、幾多の金融危機を乗り越えて好調な運用実績を出し続けています。それは、どのような経済環境下においても最適な投資戦略を策定できる優秀なアナリストやポートフォリオ・マネージャーがいるからだけではありません。お客さまと直接コンタクトをする営業担当や営業部門を支えるバックオフィスも含めて、一つのチームとして有機的に機能しているからです。ロベコは長い歴史の中でもチームワークを常に重視しており、この強いチームワークはお客さまからの長期的な信頼の獲得にもつながっていると考えています。

日本においては、2005年に東京オフィスを開設し、国内の運用会社などに対して投資助言・代理業を行いながら、ロベコの運用ノウハウの提供を強化してきました。昨年9月にはロベコ・ジャパンを設立し、今年6月より投資運用業務の本格展開を開始しました。今後は、年金基金（企業年金・公的資金）や銀行・生命保険などの金融機関に対して、ロベコの投資手法を直接提供し、サービスの拡大を図ってまいります。



現地リポーターが所属するチームメンバーの皆さん



オランダひとくち情報

オランダは治安も良く英語も通じ、人々はとてもフレンドリーです。また身長が高いのも特徴で、平均身長は男性は世界1位、女性も世界4位*です。ロベコがある欧州屈指の港町であるロッテルダムは新鮮な魚介を使った寿司店も多くあり、地元プロサッカーチームのフェイエノールトにはかつて元日本代表の小野伸二選手が在籍していたことで知られています。また、ロッテルダム郊外には世界遺産キンデルダイク風車群があり、多くの観光客が訪れています。

*出典:OECD



地域に根ざし、 地域と共に成長する

オリックス 執行役 井尻 康之
国内営業統括本部地域営業担当



常に最新の情報・サービスを提供する

地域営業担当は、東京と近畿圏を除く北海道から沖縄までの地域に39支店を構え、総勢360名で法人向けの営業活動を行っています。2年前よりオリックス自動車の拠点と統合し、提供するサービスやネットワークを拡大しています。地域営業担当の強みは、東京や各地域で生まれたオリックスグループの新しいビジネスや最新情報を各支店がスピーディに共有し、お客さまに時間差なくご提供できる点だと考えています。最近の傾向としては、各種補助金を利用した省エネルギービジネスや太陽光発電などの再生可能エネルギービジネス、海外進出支援に関する商談が増えています。

金融機関との連携や震災復興支援の継続

営業戦略の一つとして、全国の主要な地域金融機関と提携しています。オリックスと金融機関、双方のお客さまに対するビジネスマッチングを推進するとともに、各金融機関の融資に対して保証提携するなど、幅広い事業機会を得ています。

また、東日本大震災後の復興を支えるビジネスとして、瓦礫処理に関わる建機、トラックなどのリースや、岩手県釜石市で復興事業を行う作業員向けホテルの建設、銀行向けに移動可能なATM搭載車両の販売などを行ってきました。引き続き、復興のニーズを捉えながらさまざまな形でビジネスを通じて支援を継続していきたいと考えています。

地域創生の一翼の担い手として

地域営業担当には、長年お付き合いいただいているお客さまがとても多く、オリックスはそのお客さまと共に成長の道を歩んでまいりました。ビジネスのお取引に留まらず、お取引いただいている各地域のお客さまを招いての懇親会を定期的に開催するなど、継続的に親交を深めています。

今後も地元企業との関係を大切に、地域の金融機関と協力しながらお客さまの事業成長のお手伝いを行い、地域経済の発展に関わっていききたいと思えます。また、国としても地域創生でさまざまな施策が打ち出されていますので、その一翼を担えるよう地元企業と共に新たなビジネスを模索していきたいと考えています。

地域の子どもたちと自然との触れ合いを通じて 環境保全への理解を深めています

オリックスグループは社会貢献活動の一環として環境保全への理解促進を目的に、お取引先と連携し、植樹体験やどんぐりクラフトなどの自然体験教室を開催しています。2回目となった本年は10月～11月に北海道と福岡県で各支店の社員ボランティアが地域の子どもたちを招待して実施しました。



どんぐりクラフト教室の様子

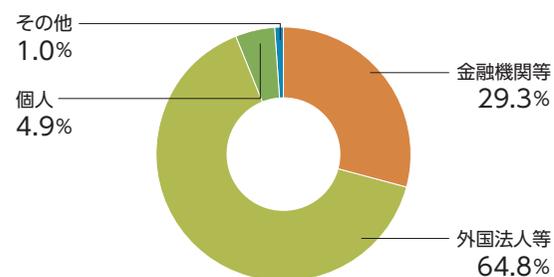
会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名 オリックス株式会社 連結会社 730社
 設立 1964年4月17日 関連会社 99社
 従業員数(連結) 30,247名 拠点数 国内 1,299拠点 海外 546拠点
 事業内容 金融サービス業 *世界36カ国・地域に展開しています。

株式情報 (2014年9月30日現在)

発行会社 オリックス株式会社 発行済株式の総数 1,323,639,628株
 発行可能株式総数 2,590,000,000株 株主数 53,036名

所有者別株主構成比(株式数)



1株当たり配当額の推移(円)



当社は2013年3月31日最終の株主名簿に記載された株主に対して、2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。1株当たり配当額は当該株式分割を考慮し、過年度についても適宜的に調整しています。

株主メモ

株主名簿管理人
 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11
 ☎0120-232-711
 上場証券取引所
 東京証券取引所市場第1部[8591]
 ニューヨーク証券取引所[IX]

株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

- 証券会社に口座を開設されている株主さま
お取り引き口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 「特別口座」に記載されている株主さま
当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(左記)にお問い合わせください。

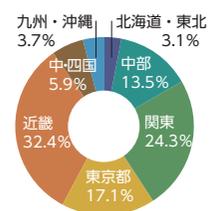
IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)



2014年7月発行の株主通信「悠」No.47でご協力をお願いしましたアンケートに、前年比1.5倍となる11,904通のご返信をいただきました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。株主さまからの貴重なご意見を、今後の情報発信や株主さま向けサービスの参考にさせていただきます。アンケート結果とご意見の一部をご紹介します。

実施期間
2014年7月～2014年8月
返信数
11,904通 / 返信率:23.3%

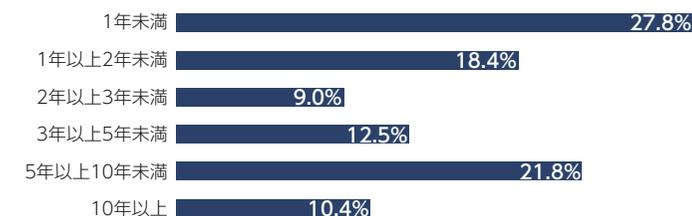
居住地



年齢



オリックス株式の保有期間



Q

役員だけではなく、現場社員の声も聞きたい。



ご意見ありがとうございます。「おしえて！オリックス」のコーナーでは、キラリトギンザのプロジェクト担当者のインタビューを掲載しています。P6をご覧ください。



Q

海外事業について詳しく知りたい。



ご意見ありがとうございます。引き続き、当社の海外事業に対するご要望を多くいただいております。今回は昨年グループ入りしたロベコについてご紹介しています。P7をご覧ください。



50周年特別ご招待プログラムを実施しました



バッファローズ始球式



春帆楼でのお食事(イメージ)

オリックスグループ創立50周年を記念して、株主通信「悠」No.47に同封したアンケートにご回答いただいた方の中から抽選で特別プログラムにご招待しました。

「バッファローズ満喫プラン」で始球式にご参加いただいた方からは、とても緊張された様子で「京セラドームで投げるのが夢でした」とのご感想をいただいたほか、各プログラムにご参加いただいた方よりお礼のお手紙やコメントを頂戴いたしました。今後もオリックスならではのプログラムを企画してまいります。



森脇監督からのメッセージ

たくさんのご声援、
ありがとうございました。

全力で戦いましたが頂点には届かず、とても悔しいシーズンでした。日々成長した姿を見せてくれた選手たちには強いオリックスを作るために、みんな本当によくがんばってくれたと労いたいと思います。来季は今まで以上に“挑戦する”という気持ちを前に出して、全力で優勝を目指します。そして、大勢のファンの皆さまと共に喜びあいたいと思います。今シーズンのご声援、どうもありがとうございました。



金子千尋 投手

2014年沢村栄治賞、
パ・リーグで最多勝、
最優秀防御率の
投手二冠を獲得！



沢村賞は先発投手として目指すところでもありますし、やっぱりうれしいですね。球団初ということは知りませんでしたので、驚いています。来年の目標はケガをせずに1年間投げることです。毎年タイトルが取れるようにがんばっていきたいと思います！

平野佳寿 投手

パ・リーグ新記録となる
40セーブをマークし、
最多セーブ投手の
タイトルを獲得！



まさか自分がこのタイトルを取れるとは思いませんでしたので、素直にうれしいですね。チームが勝っている状態で登板させてもらえた機会が多かったので、チームの皆さんに感謝しています。

タイトル獲得！ 喜びの声

佐藤達也 投手

最優秀中継ぎ投手の
タイトルを獲得！



2年連続でこのタイトルをいただいたという実感はまだありません。昨年はただ“がむしゃら”に投げているだけでしたが、今年は少し責任感を持って投げられたかなと思います。チーム状態がいい中で、“チームのために”と思って投げ続けた結果だと思っています。

糸井嘉男 選手

首位打者賞、
最高出塁率賞を獲得！



首位打者は取りたかったタイトルですし、毎日結果を出すために、しっかり準備してきた結果だと思っていますので、素直にめっちゃうれしいですね。出塁率が4割を超えたということは、誇りに思います。

来シーズンも
応援よろしく
お願いします！

これからも、ひとつに。

選手とファンがひとつになって戦った2014年。
皆さんの、熱い声援と後押しのおかげで、
多くの勝利を積み上げることができました。
この先への挑戦は、今ここから始まります。
2015年も、さらに、ひとつになろう。



この冊子の内容についての
ご質問、また補足情報をご
希望の方は右記まで
ご連絡ください。

オリックス株式会社 経営企画部 グループ広報部
〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
TEL: 03-3435-3121 FAX: 03-3435-3154
URL: <http://www.orix.co.jp/grp/ir>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

IX
LISTED
NYSE